

近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。

50 1 2 3 4 5 6 7 8 9 60

天保十三年
甲辰正月

一 張

九
十
口

札 四

合 百五十五 符 録

合 百五十五 符 録

合 百五十五 符 録

合 百五十五 符 録

合 百五十五 符 録

合 百五十五 符 録

合 百五十五 符 録

合 百五十五 符 録

合 百五十五 符 録

四

少壯

少壯之時

四

少壯

少壯之時

四

少壯

少壯之時

四

少壯

少壯之時

四

少壯

少壯之時

四

少壯

少壯之時

四

少壯

少壯之時

四

少壯

少壯之時

四

少壯

少壯之時

四

少壯

少壯之時

四

少壯

少壯之時

回

石上

石上

回

石上

石上

回

石上

石上

回

石上

石上

回

石上

石上

回

石上

石上

回

石上

石上

回

石上

石上

回

石上

石上

回

石上

石上

回

石上

石上

回

石上

石上

三才圖會


 吳昌碩作
 日清

四
音聲全下
乃好聲


 丁巳年
 劉子雲

五言古詩
五言古詩


 李延年
 作

天
下
無
雙
妙
筆
生
花

百衲子年
陳永年

合
前
後
臨
終
時
分

西坡先生
張大善書

合 百 拾 五 年 陽 月 修 成
ひふし 能 年
おふし 年

合 百 拾 五 年 陽 月 修 成
ひふし 能 年
おふし 年

合 百 拾 五 年 陽 月 修 成
ひふし 能 年
おふし 年

合 百 拾 五 年 陽 月 修 成
ひふし 能 年
おふし 年

合 百 拾 五 年 陽 月 修 成
ひふし 能 年
おふし 年

合 百 拾 五 年 陽 月 修 成
ひふし 能 年
おふし 年

合 百 拾 五 年 陽 月 修 成
ひふし 能 年
おふし 年

合 百 拾 五 年 陽 月 修 成
ひふし 能 年
おふし 年

合 百 拾 五 年 陽 月 修 成
ひふし 能 年
おふし 年

合 百 拾 五 年 陽 月 修 成
ひふし 能 年
おふし 年

百五十五 柳橋集
卷之五

百五十六 柳橋集
卷之六

百五十七 柳橋集
卷之七

百五十八 柳橋集
卷之八

百五十九 柳橋集
卷之九

百六十 柳橋集
卷之十

百六十一 柳橋集
卷之十一

百六十二 柳橋集
卷之十二

百六十三 柳橋集
卷之十三

百六十四 柳橋集
卷之十四

百六十五 柳橋集
卷之十五

百五十五
松島文房

百五十六
松島文房

百五十七
松島文房

百五十八
松島文房

百五十九
松島文房

百六十
松島文房

百六十一
松島文房

百六十二
松島文房

百六十三
松島文房

百六十四
松島文房

百六十五
松島文房

百六十六卷 卷之六十六

百六十七卷 卷之六十七

百六十八卷 卷之六十八

百六十九卷 卷之六十九

百七十卷 卷之七十

百七十一卷 卷之七十一

百七十二卷 卷之七十二

百七十三卷 卷之七十三

百七十四卷 卷之七十四

百七十五卷 卷之七十五

百七十六卷 卷之七十六

合 此山は昔より名勝なり
山頂より望むとて
絶好なり

合 此山は昔より名勝なり
山頂より望むとて
絶好なり

合 此山は昔より名勝なり
山頂より望むとて
絶好なり

合 此山は昔より名勝なり
山頂より望むとて
絶好なり

合 此山は昔より名勝なり
山頂より望むとて
絶好なり

合 此山は昔より名勝なり
山頂より望むとて
絶好なり

合 此山は昔より名勝なり
山頂より望むとて
絶好なり

合 此山は昔より名勝なり
山頂より望むとて
絶好なり

合 此山は昔より名勝なり
山頂より望むとて
絶好なり

合 此山は昔より名勝なり
山頂より望むとて
絶好なり

合 此山は昔より名勝なり
山頂より望むとて
絶好なり

西村彦平
神田彦平

田村彦平
神田彦平

村田彦平
神田彦平

田村彦平
神田彦平

五福

田村彦平
神田彦平

田村彦平
神田彦平

田村彦平
神田彦平

田村彦平
神田彦平

田村彦平
神田彦平

日 長久保 中務卿
長久保 長久保

日 長久保 中務卿

日 長久保 中務卿

日 長久保 中務卿

日 長久保 中務卿

① 長久保

長久保 中務卿

唐如公八首動主

合 唐如公八首動主
神中三卷
神中三卷

合 唐如公八首動主
神中三卷
神中三卷

合 唐如公八首動主
神中三卷
神中三卷

合 唐如公八首動主
神中三卷
神中三卷

合 唐如公八首動主
神中三卷
神中三卷

合 唐如公八首動主
神中三卷
神中三卷

合 唐如公八首動主
神中三卷
神中三卷

合 唐如公八首動主
神中三卷
神中三卷

合 唐如公八首動主
神中三卷
神中三卷

合 唐如公八首動主
神中三卷
神中三卷

合 唐如公八首動主
神中三卷
神中三卷

合 七 十 年 丁 未 年 丁 未 年 丁 未 年

合 丁 未 年 丁 未 年 丁 未 年 丁 未 年

合 丁 未 年 丁 未 年 丁 未 年 丁 未 年

合 丁 未 年 丁 未 年 丁 未 年 丁 未 年

合 丁 未 年 丁 未 年 丁 未 年 丁 未 年

合 丁 未 年 丁 未 年 丁 未 年 丁 未 年

合 丁 未 年 丁 未 年 丁 未 年 丁 未 年

合 丁 未 年 丁 未 年 丁 未 年 丁 未 年

合 丁 未 年 丁 未 年 丁 未 年 丁 未 年

合 丁 未 年 丁 未 年 丁 未 年 丁 未 年

合 丁 未 年 丁 未 年 丁 未 年 丁 未 年

合 丁 未 年 丁 未 年 丁 未 年 丁 未 年

去月有月而西也

百五十六
百五十六

七
七

七
七

七

七
七

七
七

七
七

七
七

合 乃秋之冬 乃秋之冬

合 乃秋之冬 乃秋之冬

合 乃秋之冬 乃秋之冬

合 乃秋之冬 乃秋之冬

合 乃秋之冬 乃秋之冬

合 乃秋之冬 乃秋之冬

乃秋之冬

合 乃秋之冬 乃秋之冬

合 乃秋之冬 乃秋之冬

合 乃秋之冬 乃秋之冬

合 乃秋之冬 乃秋之冬

合 乃秋之冬 乃秋之冬

合 乃秋之冬 乃秋之冬

百五十六
四角五
谷五

百五十五
四角五

百五十四
四角五

百五十三
四角五

百五十二
四角五

百五十一
四角五

百五十
四角五

百四十九
四角五

百四十八
四角五

百四十七
四角五

百四十六
四角五

百四十五
四角五

百四十四
四角五

一
人
母
方
新
四
分
一

札
相
白

出
人
母
方
新
四
分
一

為
一
年
八
月
一
日

出
人
母
方
新
四
分
一



一 書 卷 之 一

合 打 以 爲 心 以 爲 心
打 以 爲 心 以 爲 心

合 打 以 爲 心 以 爲 心
打 以 爲 心 以 爲 心

合 打 以 爲 心 以 爲 心
打 以 爲 心 以 爲 心

合 打 以 爲 心 以 爲 心
打 以 爲 心 以 爲 心

合 打 以 爲 心 以 爲 心
打 以 爲 心 以 爲 心

合 打 以 爲 心 以 爲 心
打 以 爲 心 以 爲 心

合 打 以 爲 心 以 爲 心
打 以 爲 心 以 爲 心

合 打 以 爲 心 以 爲 心
打 以 爲 心 以 爲 心

合 打 以 爲 心 以 爲 心
打 以 爲 心 以 爲 心

合 打 以 爲 心 以 爲 心
打 以 爲 心 以 爲 心

合 少松久 生 山崎 久

合 山崎 久 中 山崎 久

合 山崎 久 中 山崎 久

合 山崎 久 中 山崎 久

合 山崎 久 中 山崎 久

合 山崎 久 中 山崎 久

合 山崎 久 中 山崎 久

合 山崎 久 中 山崎 久

合 山崎 久 中 山崎 久

合 山崎 久 中 山崎 久

合 山崎 久 中 山崎 久

合 嘉善堂 子 嘉善堂 子 嘉善堂 子

合 百善堂 子 百善堂 子 百善堂 子

合 百善堂 子 百善堂 子 百善堂 子

合 百善堂 子 百善堂 子 百善堂 子

合 百善堂 子 百善堂 子 百善堂 子

合 百善堂 子 百善堂 子 百善堂 子

合 百善堂 子 百善堂 子 百善堂 子

合 百善堂 子 百善堂 子 百善堂 子

合 百善堂 子 百善堂 子 百善堂 子

合 百善堂 子 百善堂 子 百善堂 子

合 百善堂 子 百善堂 子 百善堂 子

合 百善堂 子 百善堂 子 百善堂 子

音念家藏

紡その糸に

一
金之寶也
涉之者必
知其為公

古風一柱香

白
紙

白濁之口

打金堂方 白濁之口
打金堂方 白濁之口

打金堂方 白濁之口
打金堂方 白濁之口

打金堂方 白濁之口
打金堂方 白濁之口

打金堂方 白濁之口
打金堂方 白濁之口

打金堂方 白濁之口
打金堂方 白濁之口

打金堂方 白濁之口
打金堂方 白濁之口

打金堂方 白濁之口
打金堂方 白濁之口

打金堂方 白濁之口
打金堂方 白濁之口

打金堂方 白濁之口
打金堂方 白濁之口

合 くらまきく のれ地き

合 くらまきく 河内く

合 くらまきく 河内く

合 くらまきく 河内く

合 くらまきく 河内く

合 くらまきく 河内く

合 くらまきく 河内く

合 くらまきく 河内く

合 くらまきく 河内く

合 くらまきく 河内く

合 くらまきく 河内く

合 くらまきく 河内く

合
三
打
抄

三石齋
三石齋
三石齋

音聲

九和久
子

書畫堂
白雲
松石

百寶堂

白粉

一
金部

張之洞書

張其成

七言
高麗水清如鏡
水清如鏡

二二の二

合 此書は、
神皇正統記

合 此書は、
神皇正統記

合 此書は、
神皇正統記

合 此書は、
神皇正統記

合 此書は、
神皇正統記

合 此書は、
神皇正統記

合 此書は、
神皇正統記

此書は、

合 此書は、
神皇正統記

合 此書は、
神皇正統記

合 七百八 如 齋 齋

合 七百八 如 齋 齋

合 七百八 如 齋 齋

合 七百八 如 齋 齋

合 七百八 如 齋 齋

合 七百八 如 齋 齋

合 七百八 如 齋 齋

合 七百八 如 齋 齋

合 七百八 如 齋 齋

合 七百八 如 齋 齋

かやのこ

合 三 杉子 杉子

合 四 杉子 杉子

一 五 杉子

六 杉子

合 七 杉子 杉子

合 八 杉子 杉子

合 九 杉子 杉子

一〇 杉子

十一 杉子

紙張之

合

之紙

雜紙

合

之紙

雜紙

合

之紙

雜紙

合

之紙

雜紙

合

之紙

雜紙

合

之紙

雜紙

合

之紙

雜紙

合

之紙

雜紙

合

之紙

⑦ 之紙

除元初四日

四 日暮夕 月夜之

四 ハハハ 小室縁紙

四 打書年 小まね

四 日暮夕 龍の目

四 打書年 古書

四 日暮夕 古白文

四 日暮夕 中書

四 日暮夕 横書

四 日暮夕 縦書

四 日暮夕 縦書

四 日暮夕 縦書

佐中書年

四 乃言ニ格ニ并 信ノ至
從中ニ格ニ并 信ノ至
乃言ニ格ニ并 信ノ至
乃言ニ格ニ并 信ノ至

四 乃言ニ格ニ并 信ノ至
乃言ニ格ニ并 信ノ至
乃言ニ格ニ并 信ノ至
乃言ニ格ニ并 信ノ至

四 乃言ニ格ニ并 信ノ至
乃言ニ格ニ并 信ノ至
乃言ニ格ニ并 信ノ至
乃言ニ格ニ并 信ノ至

四 乃言ニ格ニ并 信ノ至
乃言ニ格ニ并 信ノ至
乃言ニ格ニ并 信ノ至
乃言ニ格ニ并 信ノ至

讀方集方口

合 山崎長久
山崎長久
山崎長久
山崎長久
山崎長久

合 山崎長久
山崎長久
山崎長久
山崎長久
山崎長久

合 山崎長久
山崎長久
山崎長久
山崎長久
山崎長久

合 山崎長久
山崎長久
山崎長久
山崎長久
山崎長久

合 山崎長久
山崎長久
山崎長久
山崎長久
山崎長久

合 山崎長久
山崎長久
山崎長久
山崎長久
山崎長久

山崎長久
山崎長久
山崎長久
山崎長久
山崎長久

山崎長久

山崎長久

4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12.

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12.

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12.

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12.

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12.

